TOTO

総合取扱説明書保証書付

システムキッチン　ザ・クラッソ

THE CRASSO

このたびは、TOTOシステムキッチンをお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。
本書はTOTOシステムキッチンの総合取扱説明書です。
ご購入いただいたプラン以外の内容も含まれておりますので、
あらかじめご了承ください。

◆この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
◆この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。
◆保証書に販売店名、お引き渡し日などが記入されていることを
必ずお確かめください。

スイスイ取り出し、スイスイ収納
収納術・使いかた ▶ P.10

きれいのコツはササッとひとふき
お手入れ ▶ P.16

疑問をすっきり解消
こんなときは ▶ P.31

まずはコチラを！

快適な毎日のための contents

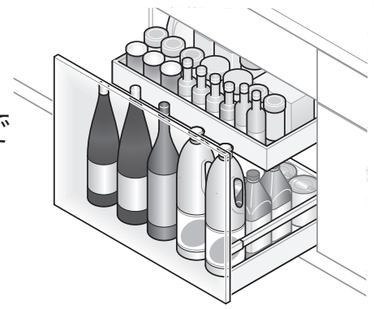
お役立ちコンテンツ

一般的なお手入れやメンテナンスについては、「WEBお客様サポート」でもご覧いただけます。

http://jp.toto.com/support/

12ページ

適材適所の整理収納で
家事の効率アップ

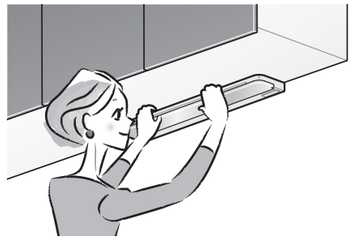


16ページ

お手入れの前に知っておきたい
汚れの種類と処置

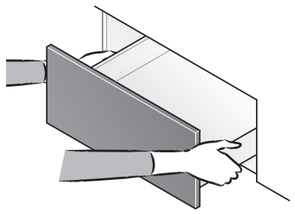
25ページ

照明の種類とお求め先



26ページ

扉同士のすき間が
気になるとき



31ページ

キッチンを
お使いのお客様から
実際に寄せられたご質問

もくじ

はじめに

各部のなまえ 4
安全上のご注意 6
使用上のご注意 8

収納術・使いかた

重量規定 10
収納術 12
使いかた 14

お手入れ

お手入れのコツ 16
日ごろのお手入れ 18
頑固な汚れ
さらにひどい汚れ・傷 20

交換・調整

照明 25
キャビネット 26
定期的な点検 30

こんなときは

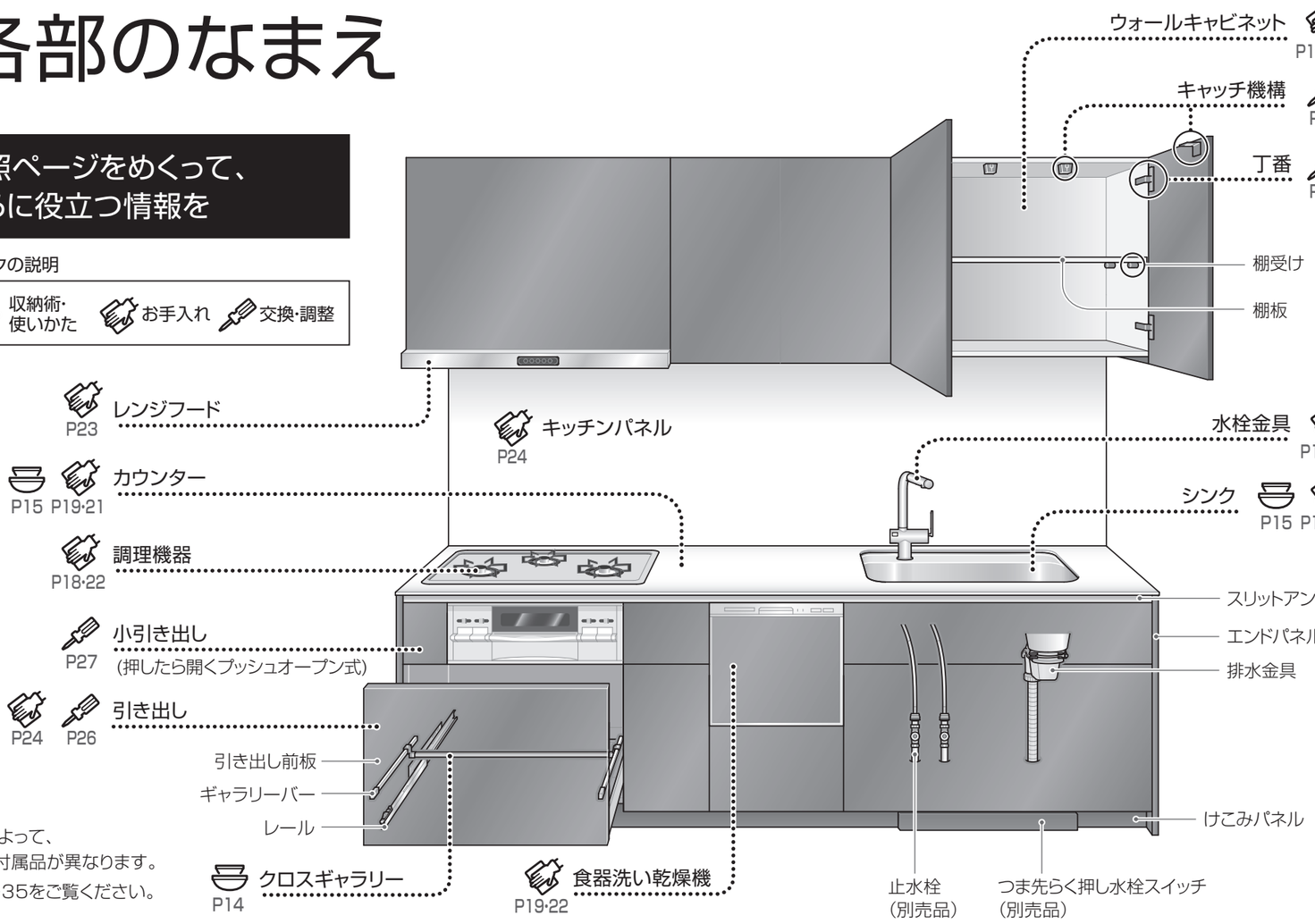
キッチンQ&A 31
別売品のご案内 34
部品の交換・買い換えのご案内 36
アフターサービスのご案内 37
保証書 39

各部のなまえ

参照ページをめくって、さらに役立つ情報を

マークの説明

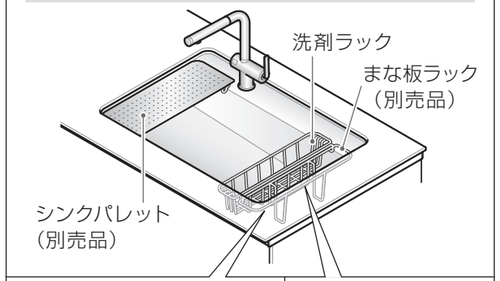
収納術・使いかた　お手入れ　交換・調整

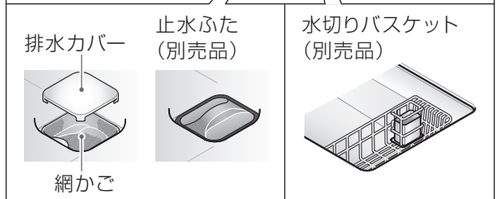


※ご購入いただいた商品によって、
レイアウトや部材タイプ・付属品が異なります。

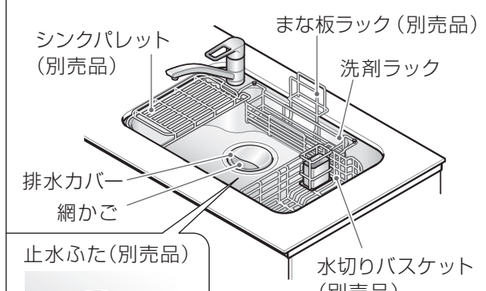
※別売品のご案内は、P34・35をご覧ください。

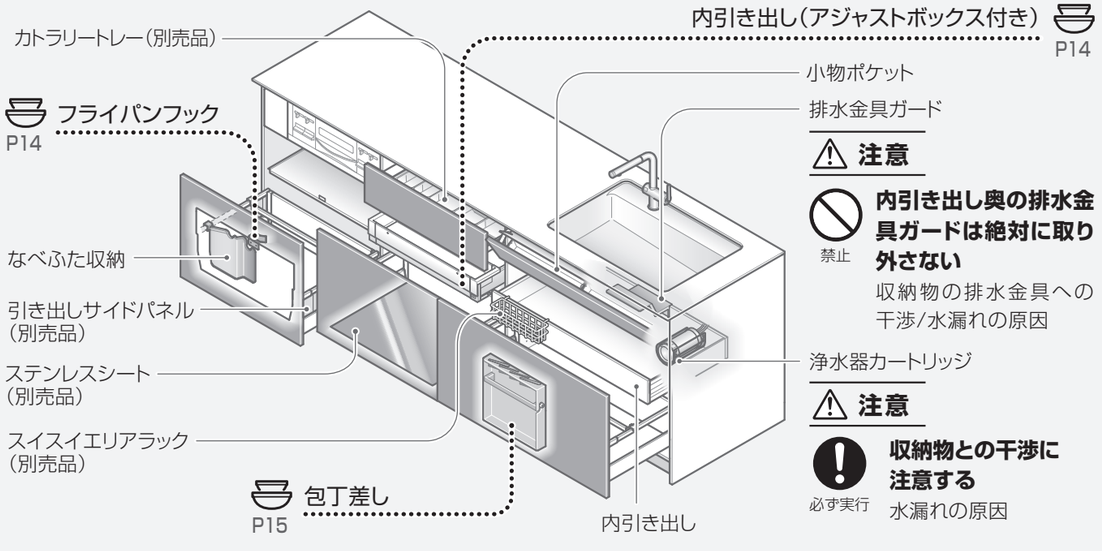
スクエアすべり台シンク





スマイルクリーンシンク
スペースアップシンク





⚠ 注意

禁止 **内引き出し奥の排水金具ガードは絶対に取り外さない**

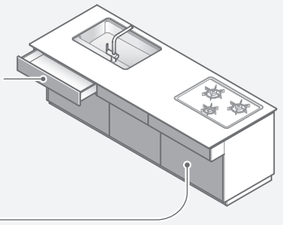
収納物の排水金具への干渉/水漏れの原因

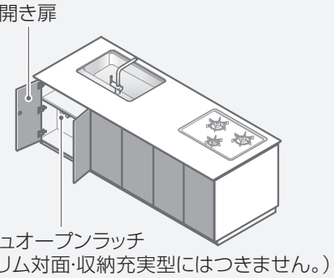
⚠ 注意

必ず実行 **収納物との干渉に注意する**

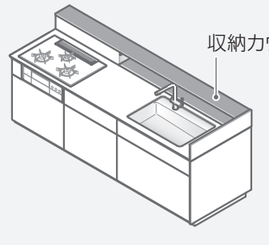
水漏れの原因

リビング側キャビネット





スリム対面・収納充実型



安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

してはいけない「禁止」の内容です。	必ず実行していただく「強制」の内容です。「必ず守る」を示しています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

けが・やけど・事故を防ぐために

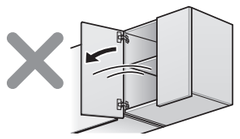
お使いのときやお手入れのときは

禁止

■引き出しやスライド棚に乗らない カウンターに乗らない、足をかけない 扉・取っ手・パネルにぶら下がらない
破損の原因／けがのおそれ

■キャスター付き商品の上に立たない
転落・転倒／けがのおそれ

■扉を大きく開けすぎない
扉の脱落／けがのおそれ



必ず実行

■組み込まれる機器・水栓金具・キャビネットなどについては、各取扱説明書・本体に表示されている事項を守る
思わぬ事故・故障の原因

■重量規定を守る
落下・破損／けがのおそれ 重量規定 P10

ガタついたり故障したときは

禁止

■そのまま使いつづけない
水漏れ・火災・漏電の原因／けがのおそれ

分解禁止

■分解や改造・修理をしない
水漏れ・火災・漏電の原因／破損・けがのおそれ
➡修理は、修理受付センターまたはお求めの販売店へご連絡ください。

禁止

■扉や取っ手に傾きやがたつきがある場合はそのまま使用しない
部品の破損や脱落／けがのおそれ
扉の調整 P28

必ず実行

■棚受けは確実に奥まで差し込む
収納物や棚板の落下／けがのおそれ

火災・感電を防ぐために

ぬれ手禁止

■スイッチやコンセント部分に水をかけたり、ぬれた手で抜き差ししない
感電のおそれ

禁止

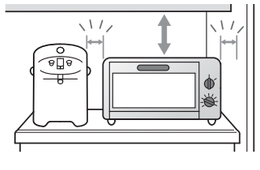
■調理機器周辺に燃えやすい物を置かない
火災の原因

必ず実行

■照明を交換する前は必ず電源を切る
感電のおそれ
照明の交換 P25

■消費電力は表示電力を守って使用する
火災の原因
※コンセント付きの商品は、各取扱説明書をご確認ください。

■家電製品は、各取扱説明書に従い設置基準を守る
火災・キャビネットの反り・変形・変色の原因



⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

けが・やけど・事故を防ぐために

お使いのときやお手入れのときは

禁止

■調理機器の使用中、使用後すぐに調理機器周辺のガラスや金属部分などに手を触れない
やけどのおそれ

■ガラスが熱いうちに汚れをふいたり、水をかけたりしない
ガラスの破損／けがのおそれ

■スライド棚には熱いなべ・包丁などをのせない
開閉時の落下/けがやけどのおそれ

■調理機器のグリル扉を開けたままグリルを使用しない
カウンター裏面部の焦げ・機器上部の加熱／やけどのおそれ

■熱湯や天ぷら油を直接排水口に流さない
排水管のつまり、部品の変形・破損／水漏れ・環境汚染の原因
➡熱湯は水を流しながら捨てる

■固形タイプの塩素系ぬめり取り剤を使用しない
金属やゴムが腐食・劣化し、水漏れの原因

必ず実行

■カウンターの角部に衝突などしないように注意する
小さなお子様の場合、けがのおそれ

■月1回は点検を行う
水漏れして家財をぬらす／財産損害発生のおそれ
定期的な点検 P30

■引き出しの着脱、調整などを行う場合やキャビネット内のお手入れをする場合は、厚手の手袋を着用する
手や指などをけがするおそれ

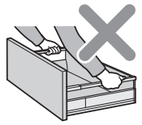
収納するときは

禁止

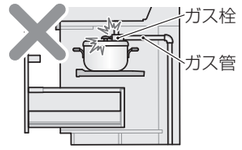
■ガラス製の扉やパネルに硬い物をぶつけたり、無理な力を加えたりしない
破損／けがのおそれ

■丁番周辺をさわらない
指挟み／けがのおそれ
特に小さなお子様は、保護者の方が触れさせないよう注意してください。

■引き出しの取り扱い時、ギャラリーバーを持たない
ギャラリーバーが外れ、引き出しの落下／けがのおそれ



■ガス配管保護カバーは絶対に取り外さない
ガス漏れのおそれ



必ず実行

■調理機器下の引き出しに収納する際、ガス栓やガス管に接触しないよう、収納物の高さに注意する

■扉や引き戸の開閉は、必ず取っ手もしくは所定の位置を持って操作する
操作時の指挟み／けがのおそれ

地震のときは

必ず実行

■キャビネットから離れる 地震後、扉を開けるときは注意する
収納物の落下・破損／けがのおそれ

ホルムアルデヒドについて

TOTOでは、お客様が安心してお使いいただけるように「ホルムアルデヒド放散量の少ない材料を採用」しています。

普段から通気や換気を心がけましょう。
ホルムアルデヒドは高温になると放散する性質があるので、室温を高くして換気をしたり、キャビネット内側を水ぶきすると効果的です。

下記の場合、特に注意して換気をしてください。
(1)新築や改築後、間もない場合
(2)気温の高い夏や長時間密閉状態にしていた場合

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散区分に関する表示

商品名	システムキッチン	
製造企業名	TOTO株式会社	
ホルムアルデヒド発散区分	F☆☆☆☆	
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」キッチン・バス工業会表示指針による	
製造番号	本体内部に貼り付けの検査証に表示	
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB	F☆☆☆☆
	MDF	F☆☆☆☆
	合板	F☆☆☆☆
	接着剤	F☆☆☆☆

※F☆☆☆☆は、ホルムアルデヒドの最も放散量が少ない上位規格です。

使用上のご注意

より長く美しくお使いいただくためのご注意です。

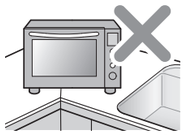
破損・けがを防ぐために

カウンター・シンクをお使いのときは

■硬い物やとがった物（包丁・砂・貝殻など）をぶつけたり、こすったりしない
■まな板代わりに使わない
傷や変形の原因

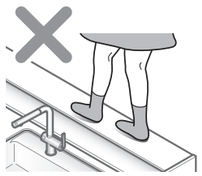
■シンクのまわりや角に包丁など鋭利な物をぶつけない
ひびや欠けの原因

■カウンターの継ぎ目には、熱い物や重い物を長時間放置しない



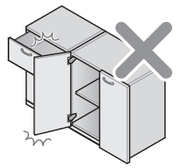
■カウンターの継ぎ目には、人が乗ったり上から強い衝撃を与えない
反り・ゆがみ・継ぎ目のひび割れ・表面波打ちの原因

■収納カウンターの上に乗らない
破損の原因

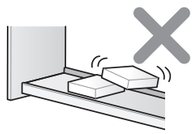


収納するときは

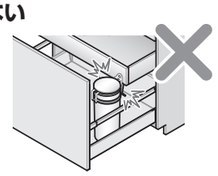
■引き出し・扉・食器洗い乾燥機を開けるときは、隣接する扉を閉めてから開ける
扉と扉の接触／傷や破損の原因



■収納物が落下しないように注意する
落下／傷や破損の原因



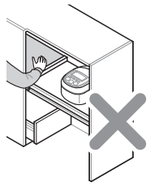
■内引き出しに当たらないように収納する
扉前面への接触／傷や破損の原因



■ステンレスシートは両手で取り扱う
部材の破損や落下／けがのおそれ

I型コーナー用家電収納をお使いのときは

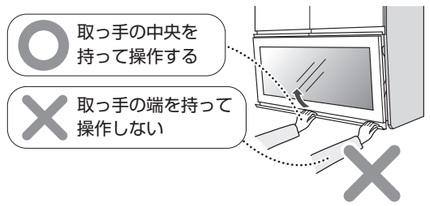
■家電製品使用中は、奥の棚に手を入れない
蒸気や家電製品への接触／やけどのおそれ



■奥の棚に食品を入れない
蒸気の影響／食品が傷むおそれ

リフトアップ扉をお使いのときは

■取っ手の中央を持って操作する
隣接するフード・パネル類・壁面と干渉し破損／指を挟むなど、けがのおそれ

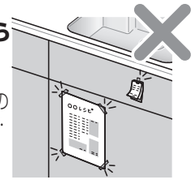


➡扉のがたつきがひどくなった場合は、使用を中止し、お求めの取扱店・販売店へ連絡してください。

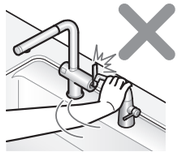
美しく保つために

お使いのときやお手入れのときは

■テープ・吸盤を貼らない
扉やパネル・カウンターなどの表面材のはがれ・汚れの付着・変色の原因



■水栓金具どうしをぶつける・シャワーヘッドを落とすなど、水栓金具に強い衝撃を与えない
傷や変形の原因



■キャスター付き商品の使用に注意する
軟らかい床材（木質のフローリング・塩化ビニール樹脂など）の場合、床面のへこみ・傷付きに注意

■同じ場所に長期間、物を置いたまま使用しない
変色やもらいさびの原因

■丁番・レールに醤油などの調味料をこぼさない
塩分を含んだ物はさびや作動不良の原因

■カウンター・シンクをぬれたままにしたり、ぬれた物を放置しない
水あかの付着・膨れ・変形の原因
➡すぐにふき取ってください。

■ぬれたカウンターに食器・金属製品を放置しない
輪染み・もらいさび・変色の原因

■カウンターの上や床にこぼれた水はすぐにふき取る
キャビネットやエンドパネルの下面から吸水し、膨れ・はがれの原因
➡床の水ぶきやワックスがけ時、キャビネットやエンドパネルにかからないようにする。

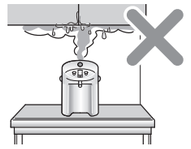
■油・煮こぼれなどの汚れを放置しない
汚れが落ちない
ステンレスの場合、さびの原因

■扉・取っ手・パネルをぬれたままにしたり、ぬれたタオルをかけない
表面のはがれ・膨れ・シミ・変形の原因
➡すぐにふき取ってください。

■直射日光にさらさない
変色・変形の原因
➡カーテンなどで遮ってください。

収納をお使いのときは

■キャビネットに蒸気を当てたままにしない
キャビネットや扉のはがれ・膨れ・シミ・変形の原因
➡こまめにふき取ってください。



■コンフォートユニット内の家電製品は必ず扉を開けて使用する

■引き出し・キャビネット内にぬれた物を入れない
腐食・カビ・膨れ・はがれの原因

■水切り棚に食器などを収納する際は、水を切る
キャビネット内部（木製品）のシミ・膨れ・破損の原因
➡水切り棚は外してお手入れしてください。

薬品・洗剤類について

■洗剤・殺虫剤・防腐剤・漂白剤・そのほかの薬品類は、各容器に表示されている液性・注意事項を必ず確認する
キッチン本体や機器類の劣化・水漏れ・故障・変色・さびなどの原因

■キャビネット内での塩素系の薬品・洗剤類の保管に注意する
塩素ガスの発生／丁番・レールのさび・動作不良の原因
➡収納する場合、キャップを確実に閉めてください。
キャビネットや容器に付着した場合、すぐにふき取ってください。

■下記の物をシンク・カウンター・扉に付着させたり、流したりしない

強酸・強アルカリ性の洗剤や薬品類、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、塗料、マニキュア、除光液、インク、毛染剤、うがい薬、ヘアトニックなどの原液、ドライアイス

変色・さび・割れなどの原因
ドライアイスは短時間でも割れの原因

■下記の物を長時間、付着させない

塩素系やアルカリ性の洗剤・漂白剤・酸性洗剤・固形または粉末の洗浄剤・コンタクトレンズの保存液・ポット洗浄剤・酸性の調味料（食酢）・柑橘系飲料水・洗剤

「ぬめり取り剤」について
水分に反応してガスが発生します。このガスは、ステンレスなどの金属をさびさせたり、ゴムを劣化させたりしますので使用しないでください。

劣化・変色・コーティング膜のはがれの原因
➡使用上のご注意をよく読んでお使いいただき、使用後は必ず十分な水で洗い流してください。

重量規定

安心してたっぷり収納していただくための重量規定です。

※下記以外の商品については個別の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 警告

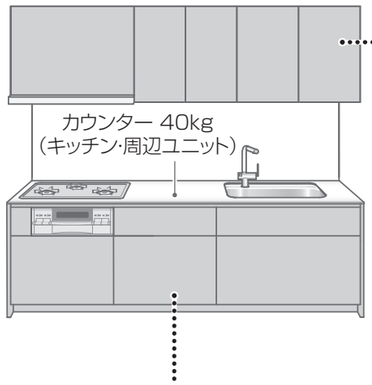
重量規定を守る
落下･破損／けがのおそれ

⚠ 注意

鋭利な物や割れやすい物を不安定な状態で収納しない
落下･破損／けがのおそれ

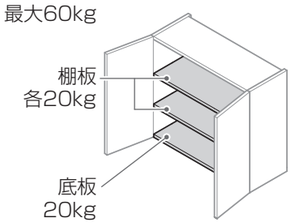
使用上のご注意

重い物は分散して収納してください
極端に重い物を棚板や底板の中央に置くと反りの原因になります。
引き出しの場合は、片寄って置くと閉まりにくくなるおそれがあります。

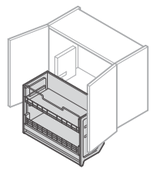


ウォールキャビネット

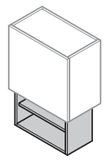
■ウォールキャビネット全般
最大60kg



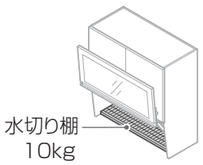
■昇降ユニット
最大13kg



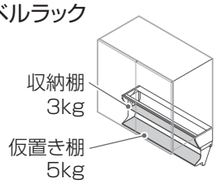
■電動昇降式ミドルウォール
最大23kg
(食器乾燥庫付きは25kg)



■ドレスアップウォール
最大60kg



■アイレベルラック

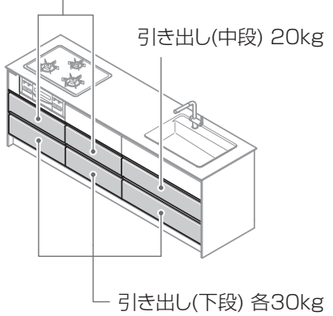


フロアキャビネット

収納術(P12･13)を参照ください。

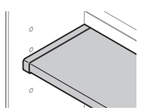
■3段引き出しキャビネットの場合

引き出し	
中段:間口600mm以下	20kg
間口601mm以上	30kg

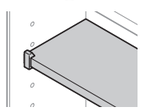


棚板全般

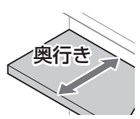
■可動棚板(樹脂製)
各20kg



■可動棚板(木製)
各10kg



■固定棚板(木製)

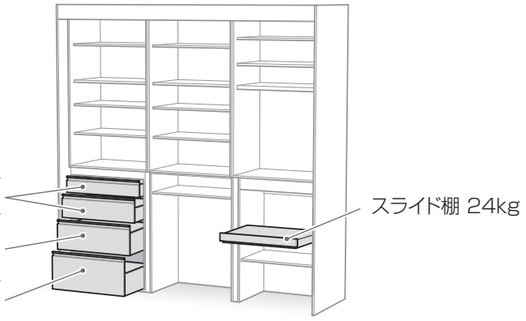


奥行き299mm以下
各10kg
奥行き300mm以上
各20kg

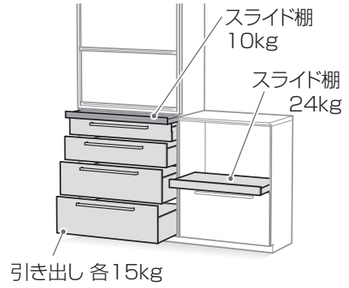
周辺ユニット

■コンフォートユニット

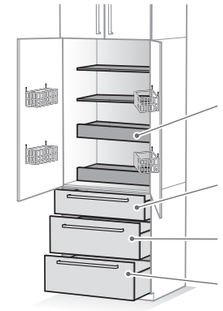
引き出し 奥行き465mm		各7kg
奥行き665mm	上段･中上段	20kg
	中下段:間口600mm以下	20kg
	間口750mm以下	30kg
	下段	30kg



■奥行き415mm
(カウンター奥行き450mm)

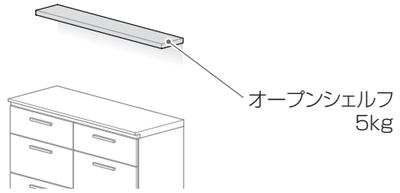


■奥行き615mm
(カウンター奥行き650mm)

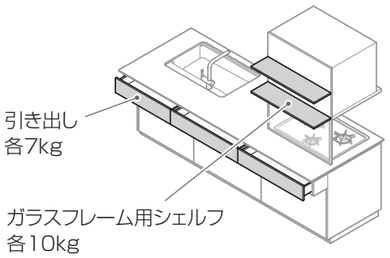


引き出し	
内引き出し	各20kg
上段	20kg
中段:間口600mm以下	20kg
間口750mm以下	30kg
下段	30kg

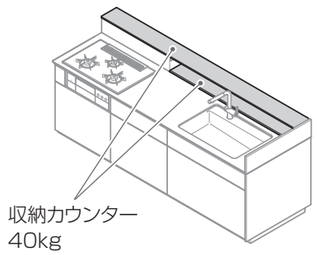
■オープンシェルフ



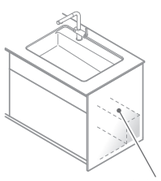
リビング側キャビネット



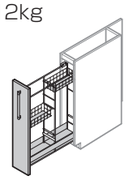
収納カウンター



その他フロアキャビネット



■調味料･一升びんラック
合計12kg

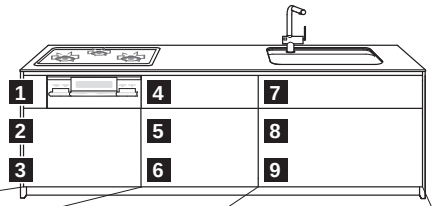


■I型コーナー用キャビネット

収納術

適材適所の整理収納で、家事の効率アップ!

※ご購入いただいた商品・シリーズによって
レイアウトや部材タイプ・付属品が異なります。



調理機器下キャビネット

1 小引き出し

調理中よく使う調味料など
重量規定:2kg

2 可動棚

小さいなべ、フライパンなど
重量規定:20kg

3 下段

なべ、フライパンなど
重量規定:30kg
(カウンター奥行き600mm:20kg)

調理スペース下キャビネット

4 上引き出し

調理中によく使うさいばし、お玉など
手前には砂糖・塩などの調味料
重量規定:20kg

5 内引き出し

酢などの調味料、乾物などの食品
重量規定:10kg

6 下段

ライスボックスや缶詰、
手前にはしょうゆボトル、一升瓶など
重量規定:30kg
(カウンター奥行き600mm:20kg)

シンク下キャビネット

7 小物ポケット

はさみ、ピーラー、クリップなど
重量規定:トレー各0.5kg

8 内引き出し

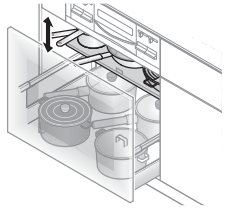
ボウル、ざる、水まわりでよく使うものなど
重量規定:15kg

9 下段

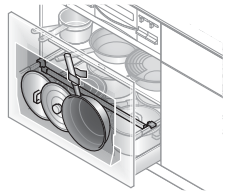
土鍋、蒸し器など大きな物、
手前にはラップ、包丁、まな板など
重量規定:30kg
(カウンター奥行き600mm:15kg)

調理機器下キャビネット

2 1段引き出し(可動棚)
お手持ちのなべなど大きさに合わせて棚の高さを変えられます。



3 1段引き出し(スライド棚)
フライパン・なべふたは手前に立てて収納できるので、手早くサッと取り出せて便利です。



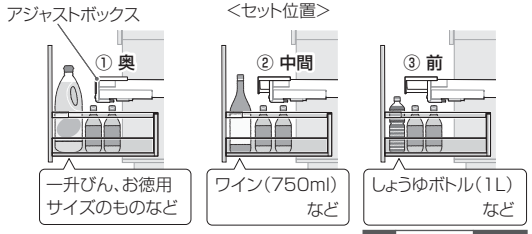
フライパンの厚みに合わせてクロスギャラリーの位置を調節できます。

位置調節 P14

調理スペース下キャビネット

6 2段引き出し(内引き出し付き)
下段引き出し手前には一升びんやお徳用サイズの背が高いものを、奥にはしょうゆなどの1L調味料が収納できます。

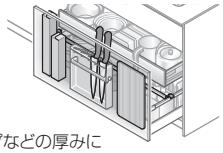
5 **6** 2段引き出し(連動内引き出し付き)
下段引き出し手前には背の高い調味料を収納できます。
また、収納物の高さと量に合わせて、アジャストボックス奥行き位置を3段階調節できるので、引き出し空間を無駄なく使用できます。



位置調節 P14

シンク下キャビネット

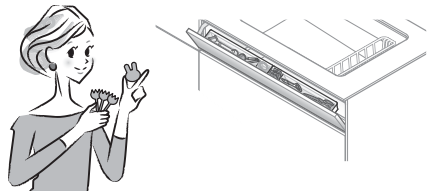
9 小物ポケット付き1段引き出し(内引き出し付き)
まな板や包丁、ラップなどは立てて収納できるので、引き出しを少し開けるだけで取り出せます。



ラップなどの厚みに合わせてクロスギャラリーの位置を調節できます。

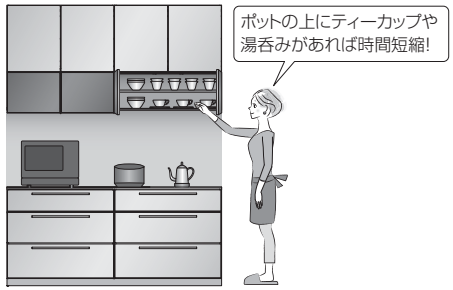
位置調節 P14

7 ピーラーやキッチンばさみなど、細かいものは小物ポケットへ入れておくと便利です。



周辺ユニット

◆カウンタープラン + アイレベルウォールキャビネット
カウンターには普段使いの炊飯器や電気ポットなど、調理家電を使いやすい高さで横並びにできます。
また、調理家電の上のアイレベルウォールキャビネットに関連する食器などを入れておくと、作業範囲を上下にまとめることができ、作業効率もアップします。



使いかた

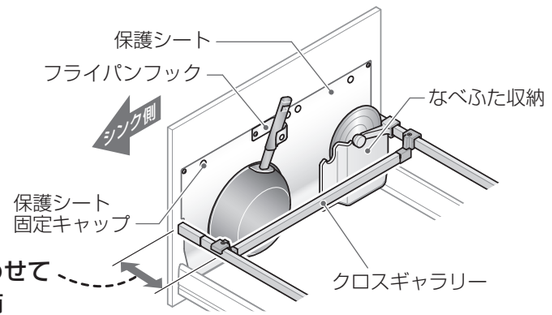
収納物に合わせて調節してください。 ※ご購入いただいた商品・シリーズによっては付属していない部材もあります。

フライパンフック・なべふた収納

使用上のご注意

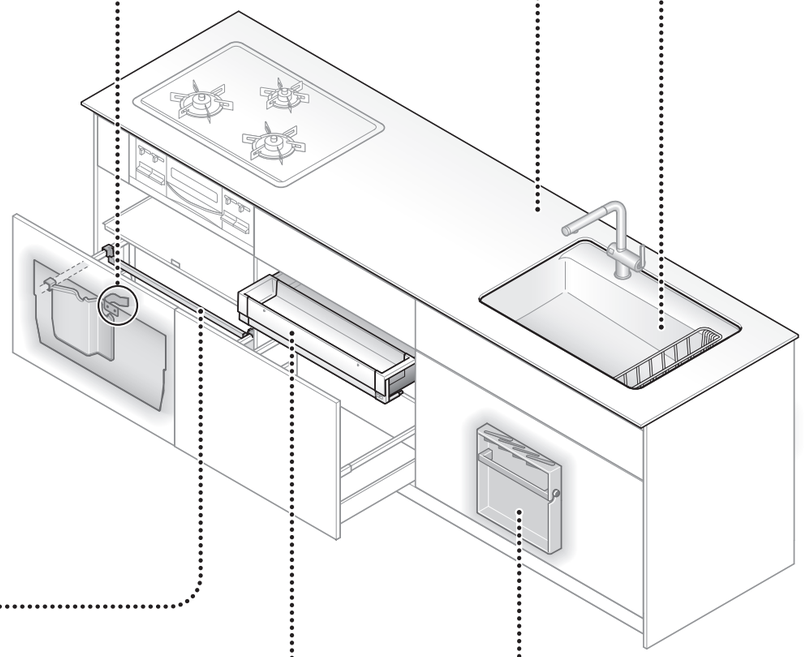
フライパン・なべふたは十分に冷ましてから、収納してください

保護シートおよび引き出し内の変形・変色の原因になります。



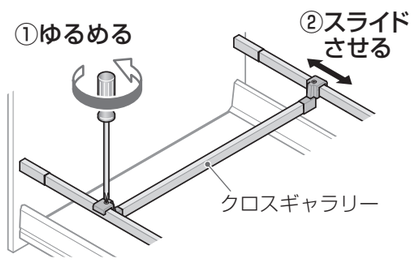
厚みに合わせて位置を調節

※右図はR仕様（シンクが右側）の場合を示します。
L仕様（シンクが左側）の場合は、フライパンフックの向きが逆になります。



クロスギャラリー

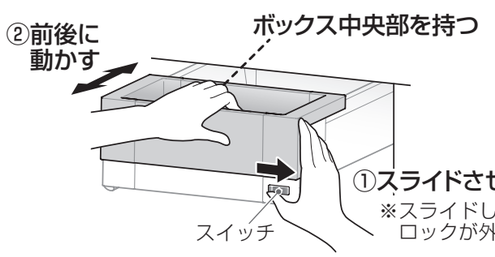
位置調節



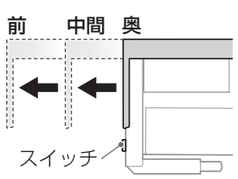
収納術 P12・13

内引き出し（アジャストボックス付き）

アジャストボックスの動かしかた



ボックスは指定の3ヵ所で固定できます。
それ以外の場所ではロックされません。
※ボックス部の耐荷重は5kgです。



シンク・カウンター

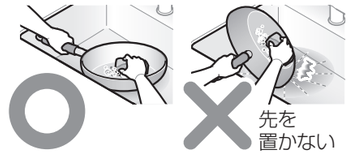
熱い物を置くとき

なべ敷きを使いましょう

100℃程度でも繰り返し同じ所に置き続けると変色や膨れの原因になります。

フライパンを洗うとき

平置きで洗いましょう



食品を洗ったあと

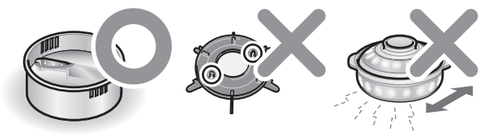
シンクの中をサッとひと洗いしましょう

野菜や貝を洗ったあとの砂や泥がある状態で洗いおけなどを引きずると、傷が付いたりコーティング膜のはがれの原因になります。

洗い物をするとき

洗いおけなどを使いましょう

凸凹やとがった物を洗うときは、洗いおけなどを使って、シンク表面に直接触れないように心がけましょう。



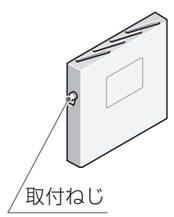
包丁差し

（キャビネットの種類によって、包丁差しの種類が異なります。）

使用上のご注意

下記寸法内でも特殊な包丁（和包丁など）は収納できない場合があります
水気を切って収納してください

さびや引き出しの膨れの原因になります。

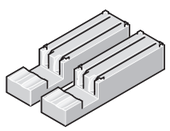


使用上のご注意

包丁の先端が底にあたったまま使用しないでください

包丁と包丁差しの破損の原因になります。

収納本数	4本
刃渡り	210mmまで



・カウンターの上に置いて使うこともできます。
・2段まで重ねることができます。

収納本数	4本（各2本）
刃渡り	200mmまで